

凌雲台

ふるさとに笑顔広げる 龍野っ子
～笑顔 元気 感謝 安全～

龍野小学校学校便り
第8号
令和2年6月8日
文責：校長 大江律子

子どもたちの笑顔あふれる学校再開！

6月1日、学校が再開しました。子どもたちの元気な声と笑顔が龍野小学校にかえってきました。龍野小職員一同、子どもたちと活動できる学校再開を待ち望んでいました。

教室の子どもたちも、とても生き生きしています。「新しい行動様式」でのスタートということで、今までとは違うところもたくさんありますが、子どもたちはしっかり適応しながら学校生活を送っています。

入学してすぐに休校になった1年生も、とても頑張っています。授業中は、先生の話をしっかり聞きながら、音読をしたり、発表したりしています。ソーシャル・ディスタンスで、給食の時並んだり、当番活動をしたりと初めてのことに頑張っている1年生です。

他学年も、それぞれがいきいきと学習したり活動したりしている龍野っ子です。

「子どもたちのよさや輝きを発見しながら伸ばしていく龍野小」として職員一同取り組んでいます。



毎日、張り切って頑張っている1年生の姿から

はきものがそろうと心もそろう～6年生の靴箱～

右の写真は、6年生の靴箱です。6年生の靴箱は、全員かかどがそろってはいっています。さりげないことですが、靴を入れる時に「靴をそろえる」ことが習慣化することで「心が整う」とも言われています。他学年の人にもそろえて靴箱に入れている人もたくさんいます。6年生の靴箱は、いつも靴がそろっています。



それでは、「靴がそろえる」ことにどんな意味があるのでしょうか。靴をそろえることで、心を切り替えることができると思います。思いっきり遊んで、校舎に入るときに一度心をリセットして、学習に向かう気持ちに切り替える作業が靴をいれることだと考えています。授業中の6年生は、まさに学習に向かう姿で一人一人の目が輝いています。切り替えがうまくできている、さすが6年生です。

簡単なことですが、なかなかできないのが靴をそろえることです。靴をなおすときに、「靴をそろえる」という心の落ち着きを育てていきたいと考えています。

『龍野っ子ならきっとできる！』

はきものがそろうと 心もそろう
心がそろうと はきものもそろう
ぬぐどきにそろえておくと はくどきに心がみだれない
だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげよう
そうすればきっと 世界中の人の心もそろうでしょう

～長野市 円福寺 藤本 幸邦 さんの言葉より～